ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.47-4	調査位置				北　緯	36 ° 44 ’ 38.0000 ”
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2009-02-26 ～ 2009-03-03	東　経	139 ° 31 ’ 04.0000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	964.03 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 11.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	15.05 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	962.53	1.50	1.50		盛土 (BS)	暗褐	緩い		シルト質砂礫 上部植物根分多い 径φ2～30mm程度の礫を主体とし、所々にコア長80mm程度の粗石混入 擁壁工事の際に乱されたものと推定		
	959.83	2.70	4.20		崖錐堆積物 (TI)	暗灰褐	緩い		シルト質砂礫 径φ2～50mm程度の礫主体 所々にコア長100mm程度の粗石混入		
	948.98	10.85	15.05		粗石混じり砂礫 (GS)	暗灰～暗赤灰	非常に密な		火山砕屑物 径φ2～20mm程度の礫主体 マトリックスは細粒土～粗砂 コア長80～390mm程度の粗石が非常に多い 深度10.00m付近より暗赤灰色の安山岩多い 孔壁は若干の崩れあり 深度9.60m以深は、孔壁の自立性高い		02/28 03/01 03/02

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	2	4／30	4
1.45					
2.15	1	1	4	6／30	6
2.45					
3.15	3	4	9	16／30	16
3.45					
4.15	50／8			50／8	>50
4.23					
5.15	50／3			50／3	>50
5.18					
6.15	50／2			50／2	>50
6.17					
7.15	14	20	16／6	50／26	>50
7.41					
8.00	50／3			50／3	>50
8.03					
9.15	22	28		50／20	>50
9.35					
10.10	50／3			50／3	>50
10.13					
11.00	50／3			50／3	>50
11.03					
12.00	50／8			50／8	>50
12.08					
13.00	50／4			50／4	>50
13.04					
14.00	50／7			50／7	>50
14.07					
15.00	50／5			50／5	>50
15.05					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験